



年頭所感



あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

皆様には、長引く新型コロナウイルス感染症により、御不安と御苦勞が続く中、日々の感染対策に御協力いただくとともに、市政運営に対し格別の御支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

本市は、昨年4月1日に市制20周年を迎えました。そのような節目の年に、市民お一人お一人が自分らしくいきいきと暮らせるまちになることを願い「躍動するとみさと」であり続けるために、希望と活力がある元気なまちに発展するよう「とみさと元気なまち宣言」を行いました。

とみさと 元気なまち 宣言

▲デザイン・日本大学芸術学部

今後も、富里の基盤産業である農業をいかし、「富里にんじんウォーク」の充実や、「富里スイカロードレース」の4年ぶりの開催を目指すなど、宣言のキーワードであります「食・運動・地域」に関する取組を相互に展開することで元気なまちを目指します。



さらには、子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てができる支援の充実や、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域や関係機関と連携し切れ目のない支援体制を強化し、ニーズに合わせた福祉サービスの強化を図ることで、市民の元気につなげてまいります。

また、全ての取組に対してSDGsやカーボンニュートラル、デジタルトランスフォーメーションといった理念や技術を取り入れながら市政を進め、市民の皆様の実便性の向上を図り、スマートシティの実現を目指してまいります。

今年の干支は「^{みずのとう}癸卯」であり、「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する」とも言われております。

これまで実施してきた取組の一つであります歳入改革の強化につきましては、積極的な企業立地の受け皿づくりに取り組んできた結果が、一つ一つ実を結び始めたことを実感しております。

今後も新たな取組を積極的に展開するなど、更なる市政発展の年となるよう邁進してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、希望に満ちた年となりますことを心から祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



富里市長
五十嵐 博文

